

# 農業に貢献して共存共生の関係づくり

休耕田の復活と  
農家さんの所得向上に貢献



## 和歌山県橋本市との農業連携

- 令和4年8月19日に和歌山県橋本市と「持続可能な農業の推進と安定的な食糧の供給・確保に向けた連携に関する協定」を締結。
- 「農薬・化学肥料などの使用を抑制した安全な農業の推進」、「有機栽培による農業の実現に向けた調査・研究」など6項目を連携事項として規定。
- 本協定をもとに、今後は橋本市の棚田を中心に地域の水田や畑を活用し、**泉大津市の小中学校の給食に米を提供したり、両市の小中学生が農業体験で交流したりする。**



— 連携協定調印式の様子 —

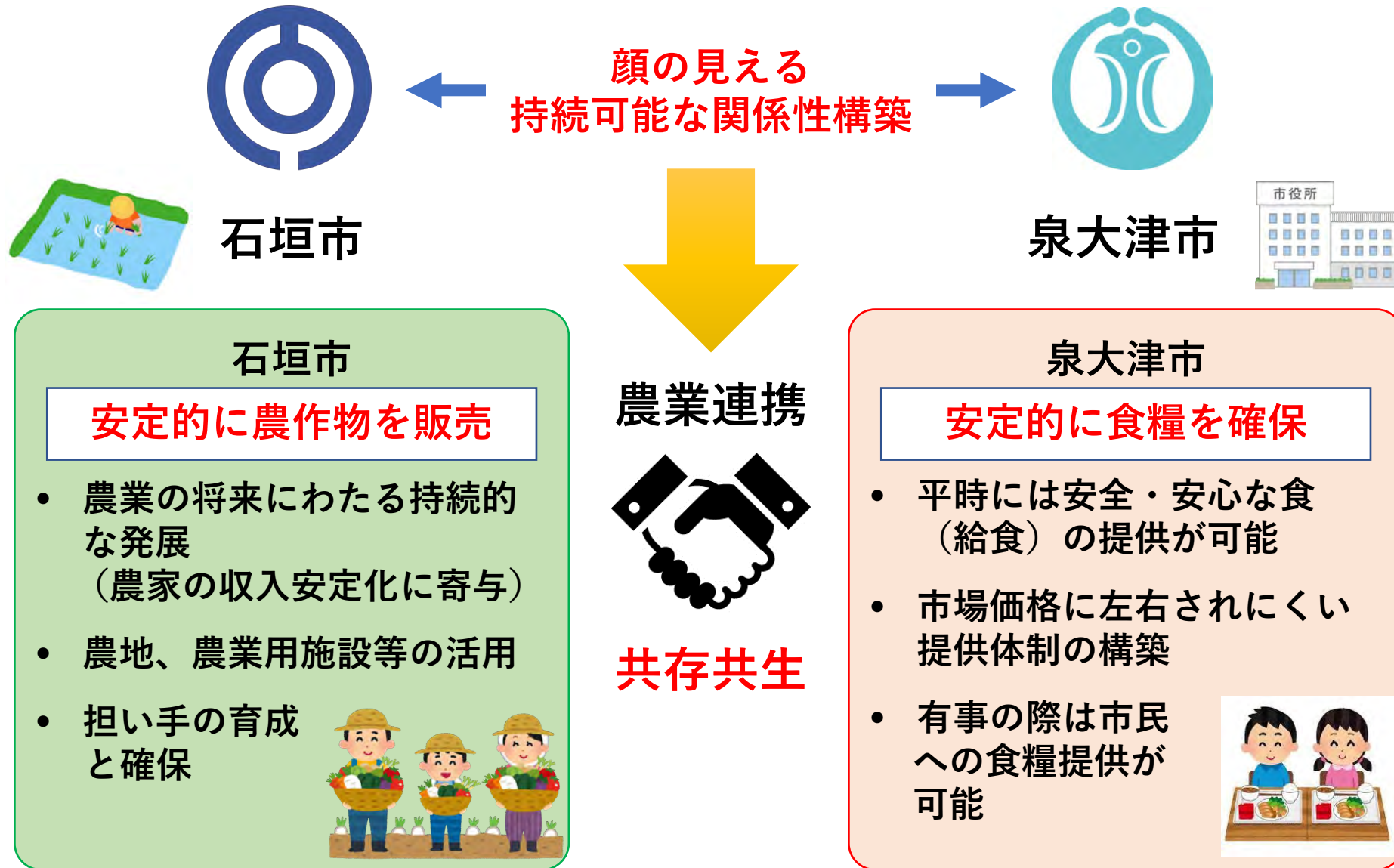
※調印式において橋本市の平木市長が「販路開拓のきっかけを泉大津市につくってもらえた。さらに連携を深めたい。」と話されており、両市にとって共存共生の連携がスタート。



# 泉大津市 石垣市 農業連携に関する協定式



## 2. 自治体間連携でめざす姿



# 連携予定の自治体

**北海道旭川市**

**長野県南箕輪村**

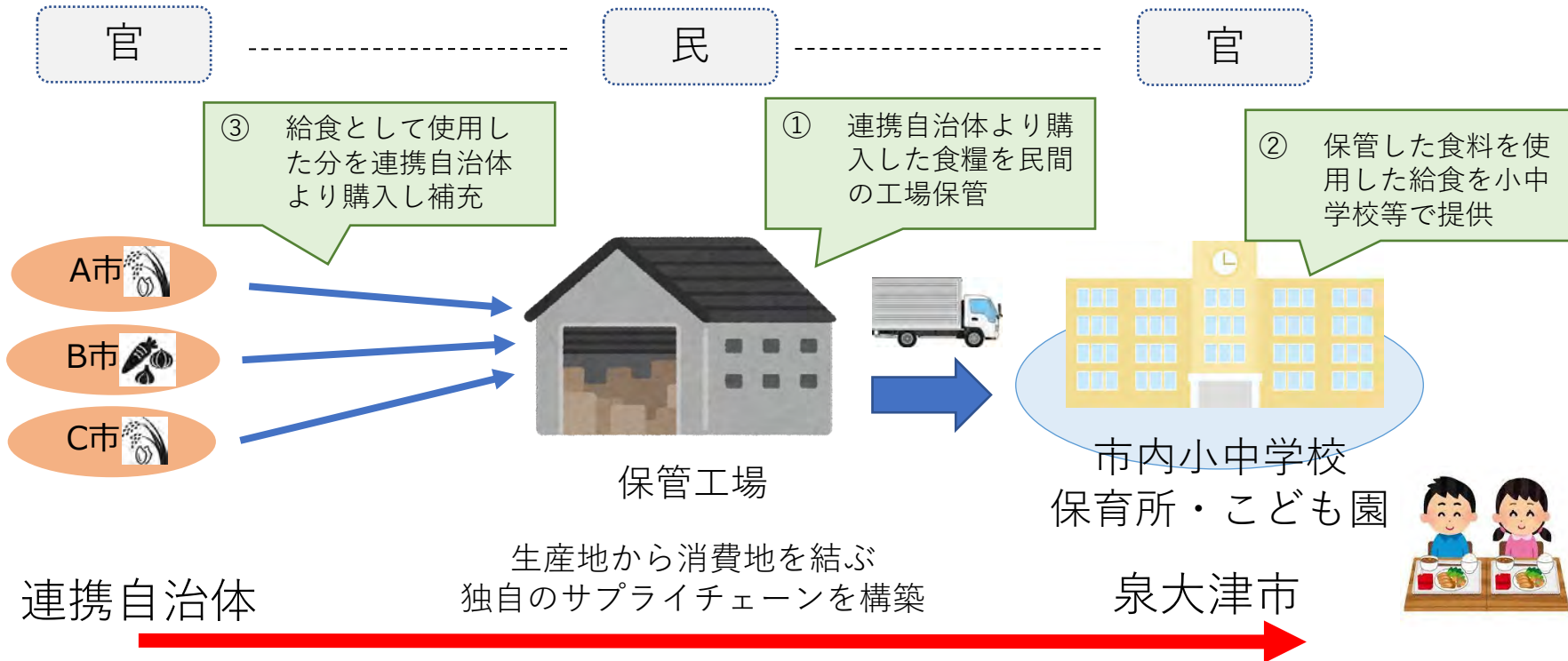
**岐阜県大垣市**

**滋賀県東近江市**

**和歌山県橋本市、日高川町**

**熊本県人吉市**

**沖縄県石垣市**



**連携自治体**

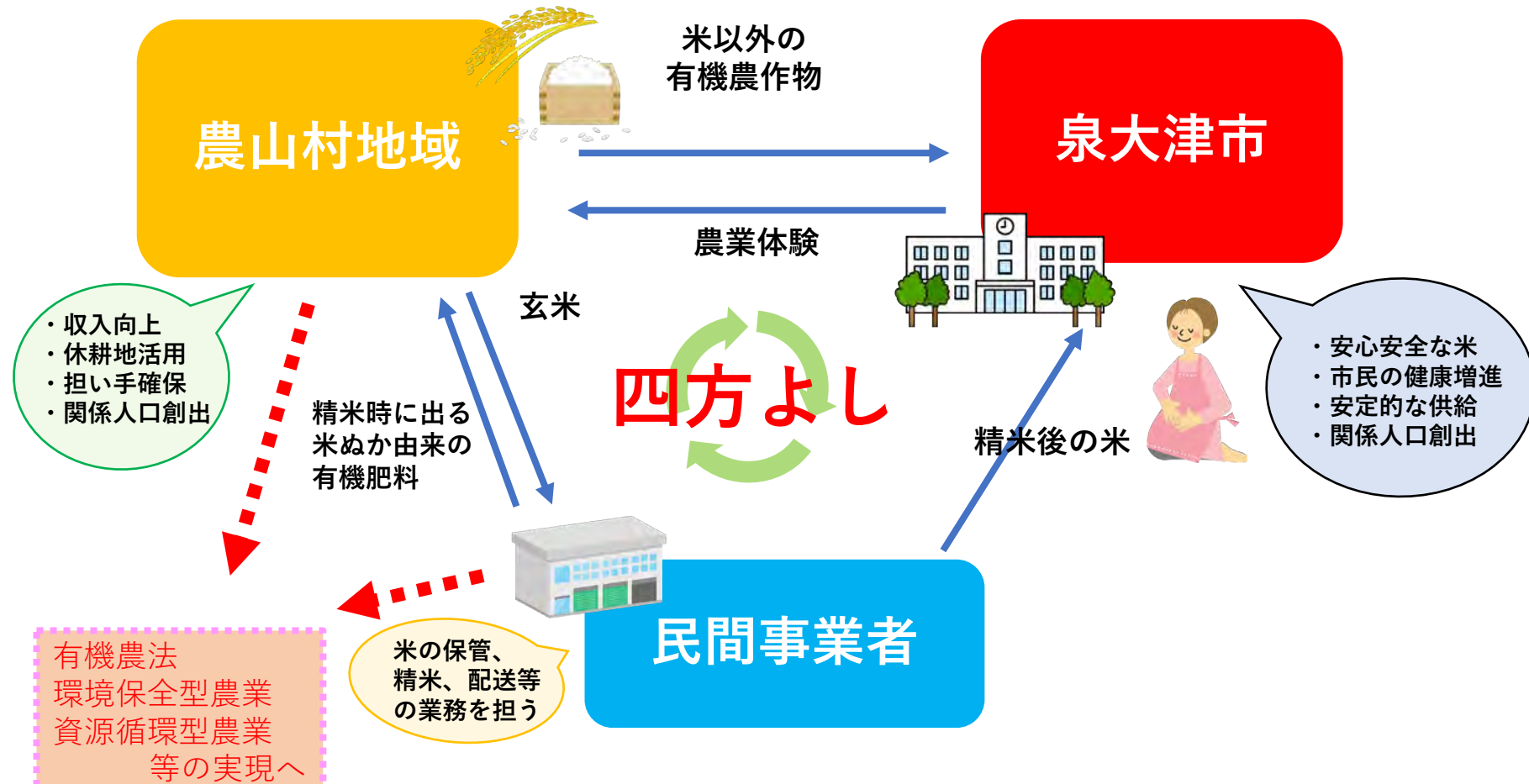
- ・ 安定的に農作物を販売
- ・ 農業の持続的な発展 (農家の収入安定化)
- ・ 農地農業用施設の活用
- ・ 担い手の育成と確保

**連携**

**共存共栄**

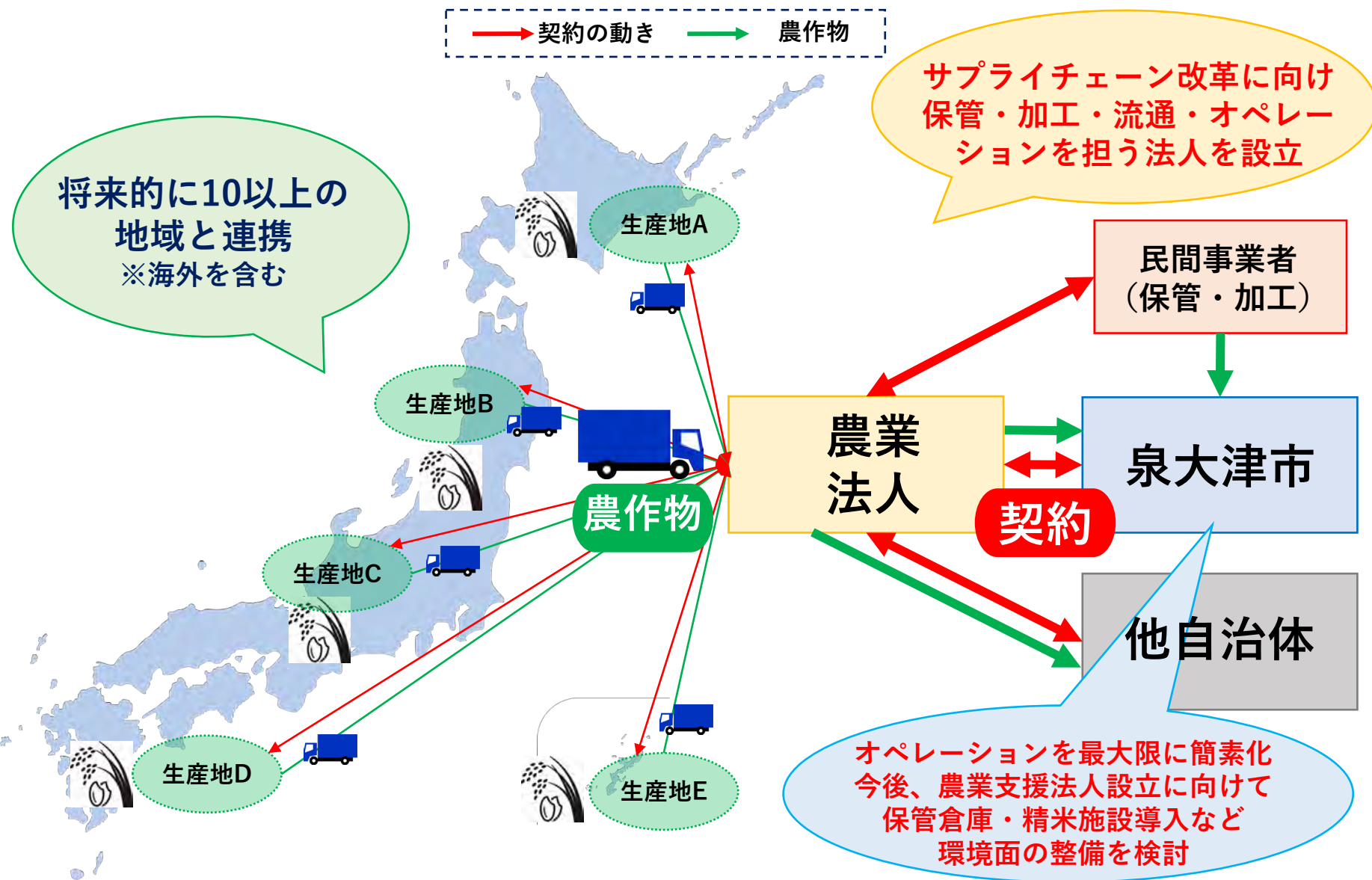
**泉大津市**

- ・ 安定的に食料を確保
- ・ 安全・安心な食（給食）の提供が可能
- ・ 市場価格に左右されにくい提供体制の構築
- ・ 有事の際に市民に食糧提供が可能



# 独自のサプライチェーン & 農と食の好循環モデル都市を目指す

# 目指す将来スキーム





**未病予防対策先進都市を目指して**

医食農同源  
身土不二

# 泉大津市健康づくり推進条例を制定 (令和5年4月1日施行)

- ◇ **食育の推進**→医食同源身土不二
- ◇ **健康リテラシーを高める**→官民連携して学びの場を提供
- ◇ 一人一人の健康状態を**見える化**する
- ◇ **多様な選択肢をつくる**(現代医学だけでなく伝統医学等)

## 学校給食における米の取り組み

令和5年4月から小・中学校の学校給食における全ての米について、農業連携先の自治体で生産された玄米を使用し、金芽米製法で精米したうえで子どもに提供。

## ときめき給食

令和4年4月より「ときめき給食」として、発酵食品やオーガニック食材、旬の食材など、季節を感じられるいつもとは違う特別な給食を、毎月第2、第4木曜日に提供。



## マタニティ応援プロジェクト

令和5年4月から東洋ライス株式会社と連携し、妊婦の健康増進を目的としたプロジェクトを実施。出生届提出の翌月から出産予定月まで毎月最大10kgの「金芽米（きんめまい）」をプレゼント。プロジェクト開始から3か月で319名（対象者約80%）が参加し、今後金芽米を食べることによる健康効果の検証を行う。



# オーガニック給食を目指した改革

食<sup>じ</sup>べ<sup>る</sup>こ<sup>と</sup>は  
生<sup>き</sup>るこ<sup>と</sup>

# オーガニック給食を目指した改革

子どもにとっての一食は  
大人にとっての一食とは違う

**オーガニック給食を目指した改革**

**オーガニック給食を  
目指して**

**足し算と引き算**



お米はすべて金芽米を使用  
塩は自然塩・発酵や季節食を取り入れ  
トランス脂肪酸はできる限り削減





何があっても食べていける  
食べることで健康になる

ベーシックインCOME

**妊産婦家庭に金芽米を  
無償送付**



東洲齋寫樂画館



炊き方:お米は金芽米専用カップで計量、水は炊飯器の目盛りどおりで炊飯した場合  
金芽米の炊飯後の栄養価(参考値) 栄養成分表示(100gあたり)エネルギー140kcal  
たんぱく質2.2g 脂質0.3g炭水化物32.3g(糖質31.7g 食物繊維0.6g)食塩相当量0g  
※ 日本食品標準成分表2015年版(七訂)(水稲めし)/精白米/うるち米と比較

糖質  
14%  
OFF

BG無洗米  
とがずに  
炊けます!

## 実現に向けての課題

### 1. 有機農業の推進

- ①有機農作物の購入にかかる持続的なコスト
- ②給食で使用するための安定的な量の確保
- ③有機農業へ転換・拡大する際の生産量減のリスク

### 2. 農業人材の確保

- ①中長期の視点で農業人材を確保する仕組み

### 3. 農業支援法人化

- ①農業法人設立に向けた支援

### 4. 横展開

- ①消費地（出口）として消費量に限界がある
- ②流通拠点としての機能づくり